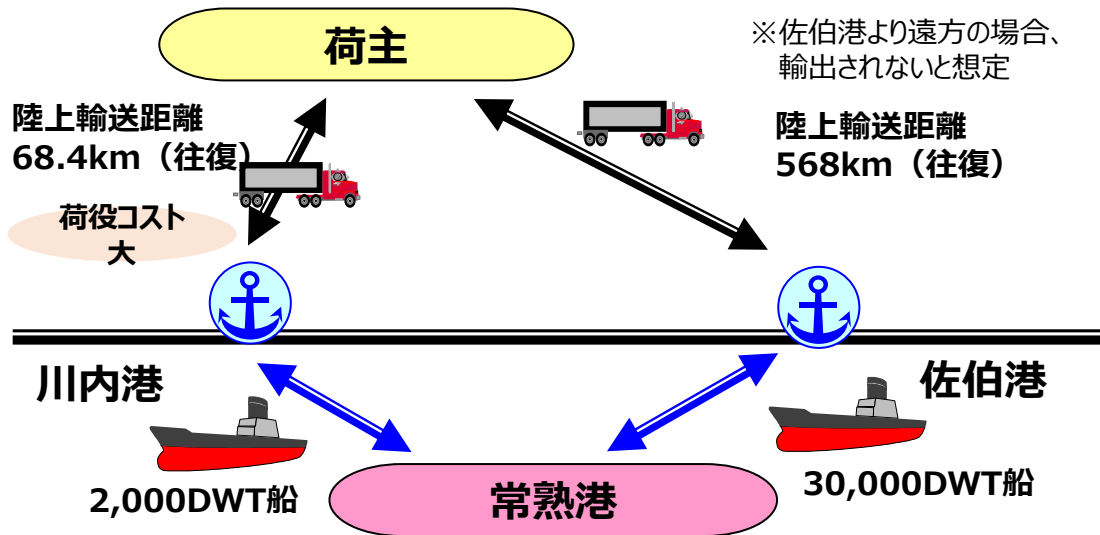


川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業

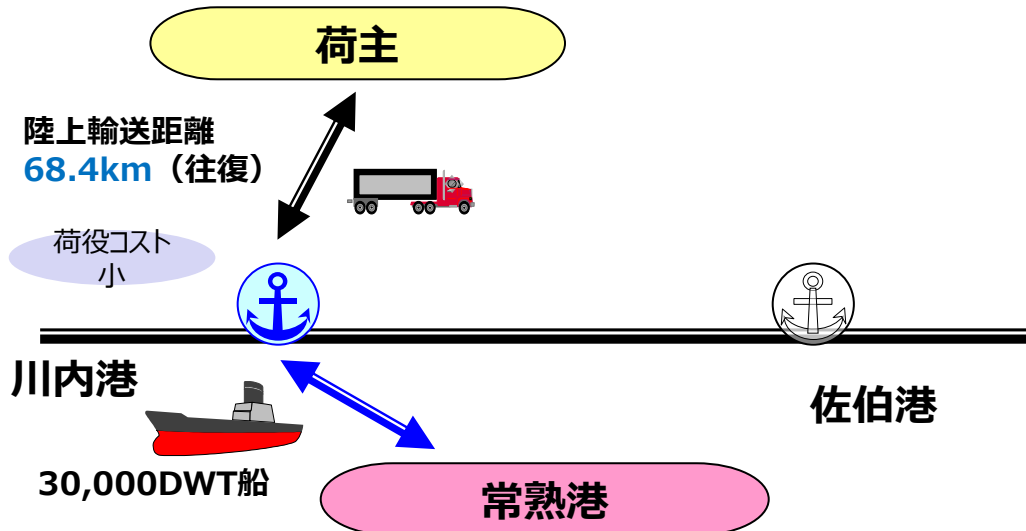
船舶の大型化により、1回あたりに輸送できる貨物量が増加し、バルク貨物(原木)の海上輸送コストが削減される。また、近傍の川内港を利用できることにより、輸送距離が短縮され、陸上輸送コストが削減される。

【船舶大型化等による輸送コスト削減効果(原木)】

Without時：川内港～佐伯港を利用



With時：川内港を利用



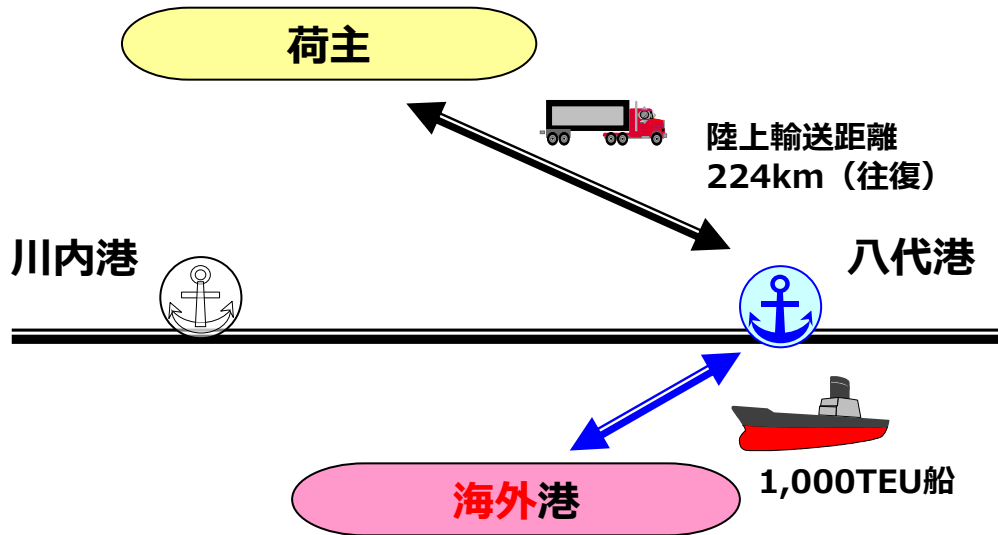
輸送コスト削減効果 **10.9億円/年**

川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業

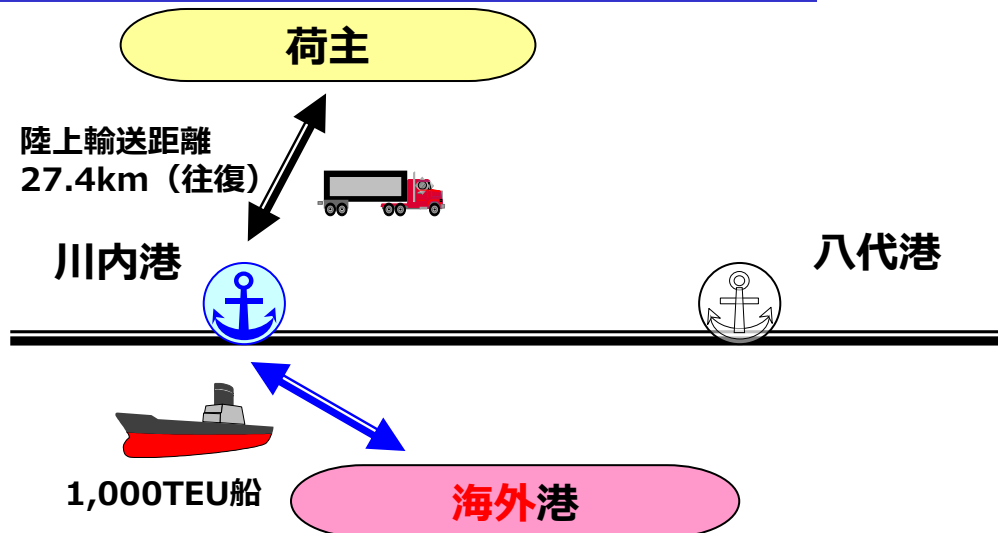
近傍の川内港を利用できることにより、輸送距離が短縮され、コンテナ貨物の陸上輸送コストが削減される。

【輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果(コンテナ)】

Without時：八代港を利用



With時：川内港を利用



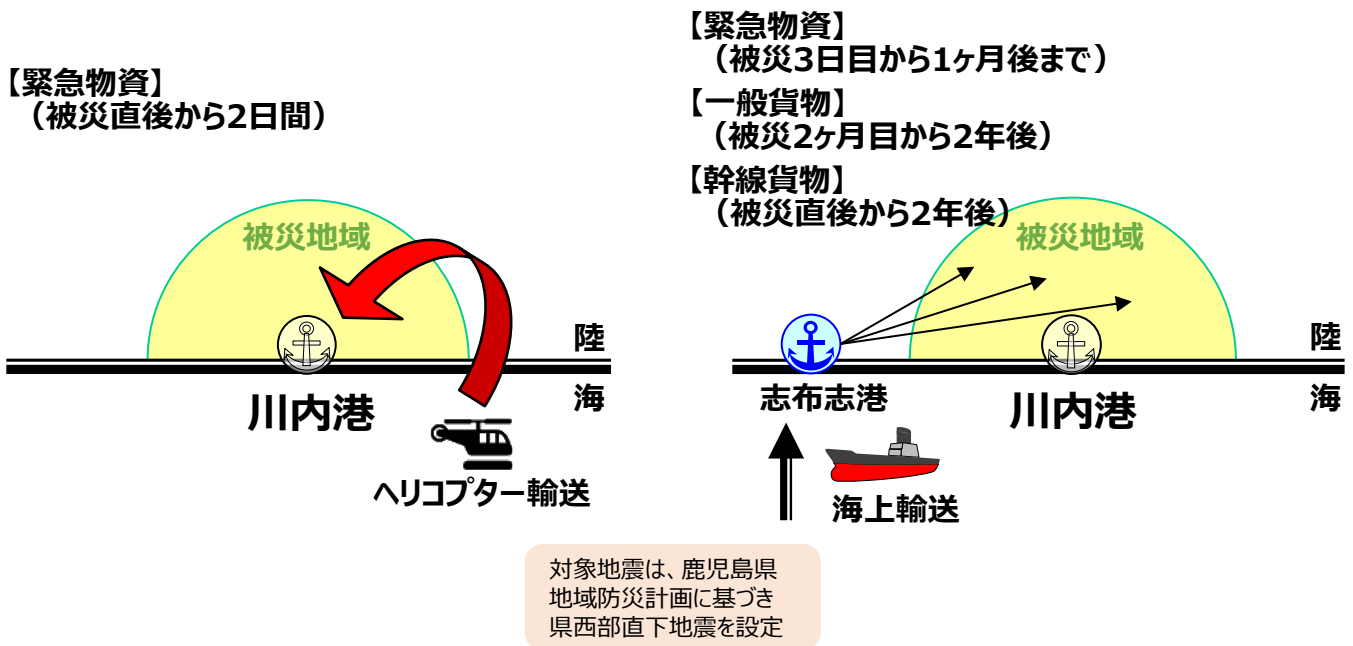
輸送コスト削減効果 **8.4億円/年**

川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業

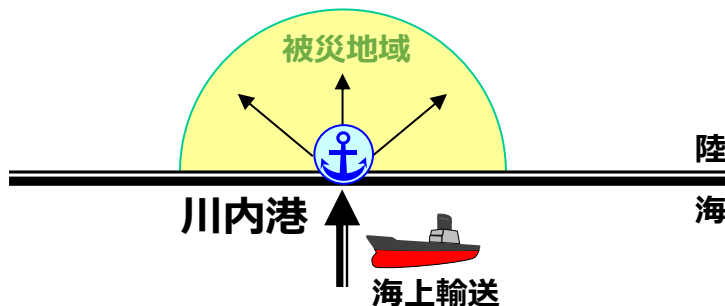
被災時において耐震強化岸壁を利用できることにより、近傍の川内港からの海上輸送が可能となり、輸送距離が短縮され、貨物の輸送コストの増大が回避される。

【被災時における輸送距離の短縮による輸送コスト削減効果】

Without時：耐震強化岸壁の整備なし



With時：耐震強化岸壁の整備あり



輸送コスト削減効果 **50.6億円/年**
(地震発生確率考慮前)